



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



1.22 諫早市教育委員会指定 研究発表会

1月22日、諫早市教育委員会指定研究発表会を開催いたしました。市内外から多くの先生の参加のもと、「**豊かな子を育む教育課程の在り方～算数科を中心として～**」について、公開授業を通して発表しました。研究仮説『**算数科において、考えをまとめ、伝え合う活動を充実させれば、児童は数学的な見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力を豊かに高め自分の学びをマネジメントしていくであろう**』を、検証する一日となりました。



対話的な学びが子どもの思考力に与える具体的な効果について、3つの視点で解説します。

1. 思考の言語化による「理解の深化」と「整理」

考えを他者に伝えようと試みる過程で、子供の頭の中では思考の整理が行われます。

- ・ **効果**： 単に公式や答えを覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」というプロセスを説明することで、**自分の考えが客観視され、理解がより確実なものになります。**
- ・ **根拠**： 「説明しようとすることで頭の中が整理される」というプロセスは、思考を定着させる大きな要因となります。

2. 多様な視点に触れることによる「多角的・柔軟な思考」

自分一人では思いつかなかった「他者の考え」に触れ、理解し、説明することは、思考の幅を広げる強力な刺激となります。

- ・ **効果**： 子どもたちが互いに顔を突き合わせて意見を交わすことで、「その手があったか！」という驚き（新しい視点の獲得）や「自分の考えと似ている」という共感（共通点の発見）が生まれます。これにより、**一つの事象を複数の角度から検討する柔軟な思考力が養われます。**

3. 納得解を導き出す「論理的・協働的思考」

対話は単なるおしゃべりではなく、異なる意見を統合し、より良い解決策（納得解）を見つけるプロセスです。

- ・ **効果**： 友達の意見を聞き、自分の考えと比較・検討する中で、「**根拠を持って論理的に考える力**」が育ちます。また、対話を通して集団としての知恵を出し合うことは、**正解のない問いに対して粘り強く考え抜く姿勢を育みます。**



このように、しっかり考え、伝え合う活動を充実させ、**確かな学力を定着せるとともに、生きる力に直結する非認知能力（目に見えない人間性や資質・能力）の育成も図っています。**

『授業を公開してくれた1年1組、6年2組のみなさん、立派な学びの姿でしたよ。』

1月の振り返り



生活目標

自分にきびしく、生活リズムを整える

- 早寝早起き朝ご飯を心がけよう
- 昼休みは外で元気に遊ぼう
- よい言葉遣いをし、相手の気持ちを考えよう
- うがい手洗いを実践しよう

保健目標

冬の病気を防ごう



図書館目標

100冊めざそうチャレンジ

給食目標

感謝の気持ちをもとう

【人権感覚】

日々の生活の中で、「人を大切にす
る感じ方・考え方・行動」が自然に身
に付いていくように指導しています。

- ①みんな一人一人が大切な存在
- ②いやなことはいやと言っている
- ③相手の気持ちを想像しようとする
- ④違いを認め合う
- ⑤傍観せず行動する
- ⑥ルールは人を守るためにある

※大人の言動そのものが、子どもたち
にとっての「教科書」であるという自
覚をもたねばなりませんね。



生活目標

寒さに負けず

自分の力で体を鍛えよう

- 手洗いうがいをしっかりやろう
- 窓の開閉を心がけよう
- ポケットに手を入れないで歩こう
- 体力づくりに取り組もう

保健目標

外で元気に遊ぼう

図書館目標

100冊めざそうチャレンジ

給食目標

自分の健康を知ろう

節分は、季節の変わり目に邪気を払い、福を

招き入れる日本の年中行事で、主に立春（春の
始まり）の前日（二月三日頃）に行われ、「鬼は
外、福は内」と言いながら炒り豆をまき、自分
の年齢の数だけ豆を食べる（または一つ多く）
ことで、一年の無病息災と厄除けを願います。

2月行事予定

5日（木）	市小中美術展（9日まで）	19日（木）	学校運営協議会評価部会
6日（金）	入学説明会 ※1年給食後下校	24日（火）	全校集会（皆勤賞表彰）
10日（火）	児童集会（保健）	25日（水）	6年生を送る会 6年模擬選挙
13日（金）	授業参観・懇談	27日（金）	まとめウィーク（全校5校時） ※3月9日まで
17日（火）	学校運営協議会実践部会		
18日（水）	お話の部屋		